





チーム日軽金として 異次元の素材メーカーへ

日軽金グループの使命(経営理念)

アルミとアルミ関連素材の用途開発を永遠に続けることによって、
人々の暮らしの向上と地球環境の保護に貢献していく

Top message

日本軽金属グループは、創業以来アルミニウムの原料から加工製品に至るまで、幅広い製品を扱ってきたアルミニウム総合メーカーです。

アルミニウムは、軽量で丈夫な上、加工性や耐食性、熱伝導性、電気伝導性、リサイクル性など多くの優れた特性を持ち、社会で広く使われてきた素材です。

当社グループでは、長年にわたり培ってきた豊富な知見・ノウハウと、素材の持つ良さを引き出す独自の技術力を強みとし、アルミとアルミ関連素材の用途開発を通し、幅広い産業分野に多種多様な製品をお届けしてまいりました。

チーム日軽金として異次元の素材メーカーへ

私たちは、チーム日軽金としてグループの総力を結集し、お客様としっかり向き合い、お客様が心の中で思っておられる「欲しい」を満たし、お客様にとっての価値を創造することで、お客様に信頼され、選んでいただける企業グループになりたいと考えております。アルミニウムに対する豊富な知見と技術をベースに、素材メーカーの概念を超え、これまでとは違う次元で取り組みができる企業グループになることを目指します。



「お客様の喜びとは何か」、私たちは自らに厳しく問い続けることで、時代の変化に対応した無限の新しい可能性を追い、持続的な成長に向けて邁進してまいります。

こうした事業活動を通じてグループ全体の企業価値を向上させるとともに、幅広い産業分野のお客様を支えることで、人々の暮らしの向上や地球環境の保護にも貢献してまいります。

代表取締役社長

岡本 一郎

INDEX

トータルソリューションのバックボーン

1. 日本軽金属グループの事業領域……………P.3
2. 幅広い活躍の舞台と事業基盤……………P.5
3. 優れたイノベーション ……P.7

field of nikkeikin

1. 自動車……………P.9
2. 電機・電子、情報通信……………P.11
3. 環境・安全・エネルギー ……P.13
4. 公共・景観・建築……………P.15
5. 輸送……………P.17
6. 食品・健康、工業製品……………P.19

- グローバルネットワーク……………P.21
会社概要・沿革……………P.23
主要グループ会社一覧……………P.25

1 日本軽金属グループの事業領域

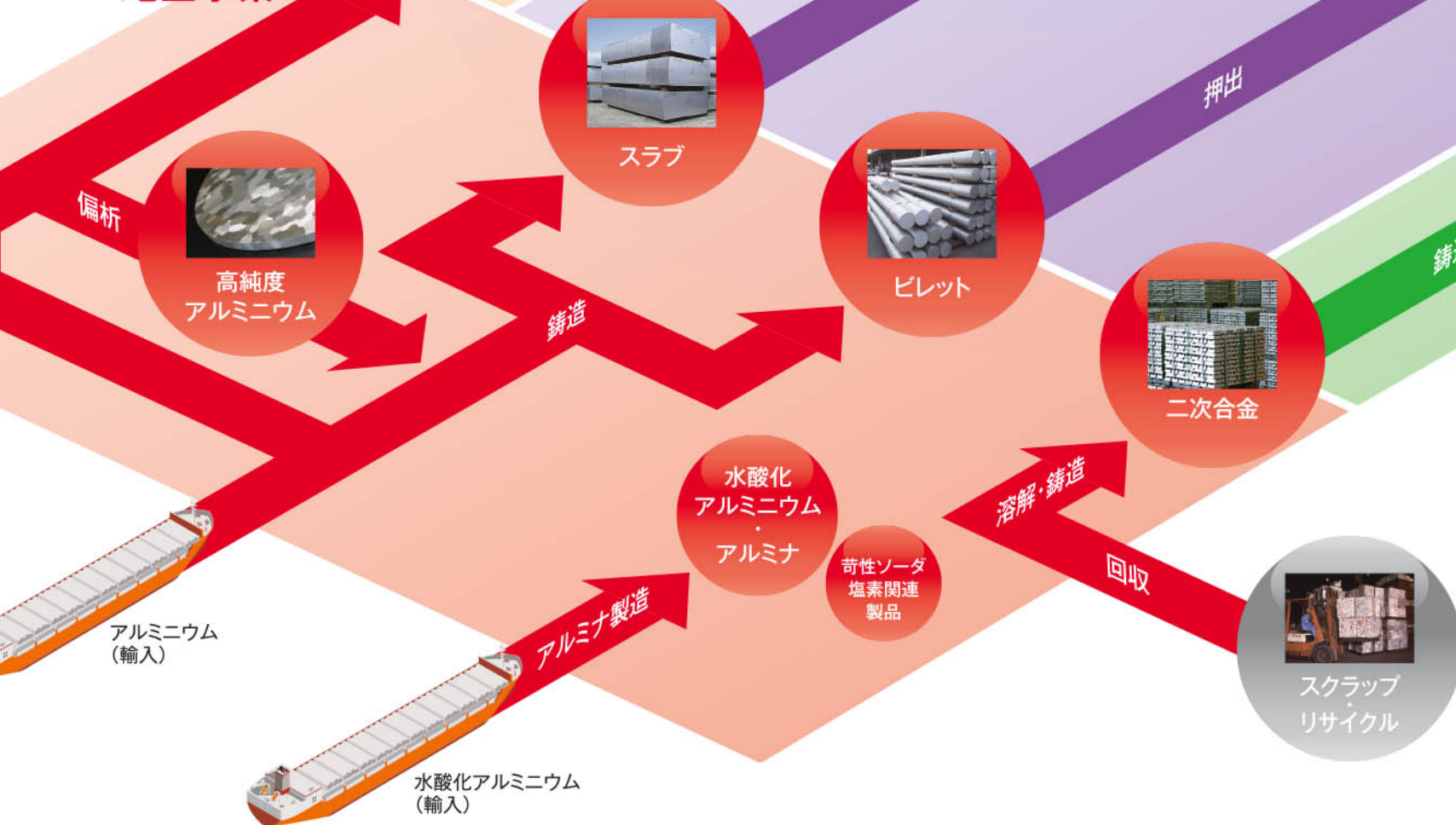
アルミ素材から中間製品、加工製品まで幅広くカバー。
総合メーカーならではの
トータルソリューションを提供します。

4つの事業を柱に、アルミニウム総合生産体制を確立。
高品質で付加価値の高い製品を生み出しています。

アルミナ・化成品、地金事業

アルミニウムの原料であり、難燃剤、セラミック、研削材などにも使われるアルミナや水酸化アルミニウムをはじめ、多種多様な化学品を製造。また、工業生産レベルで世界最高水準の高純度アルミニウムや、アルミ合金を製造しています。

アルミナ・化成品、地金事業



広く社会へ
提供しています

- 自動車…………… P.9
- 電機・電子、情報通信…………… P.11
- 環境・安全・エネルギー…………… P.13
- 公共・景観・建築…………… P.15
- 輸送…………… P.17
- 食品・健康、工業製品…………… P.19

箔、粉末製品事業

先進的なアルミニウムの研究と高精度な素材加工技術をベースに、アルミニウムの可能性を追求。樹脂・フィルムなど他素材との複合化により、幅広い分野に高品質・高機能な箔、粉末製品を提供しています。

加工製品、関連事業

バン・トラックボディ、業務用冷凍・冷蔵庫パネル、クリーンルーム用パネルをはじめ、アルミ電解コンデンサー電極箔、自動車部品、景観製品、建材など、市場で評価の高い幅広いアルミ加工製品を提供しています。

板、押出製品事業

輸送関連、電機・電子関連をはじめ、幅広い分野に板、押出製品を提供。高度な設計・構造解析技術を有しており、高精度・高品質の板材や、複雑な形状で難度の高い押出材の製造を数多く手がけています。

Topics

持続可能社会へ アルミニウムのリサイクル

アルミニウムは他の金属と比べると腐食しにくく、融点が低いため、溶解して簡単にリサイクルすることができます。そのエネルギーは、新たなアルミ地金を製造する場合に比べ、わずか3%で済み、省エネルギーに大きく貢献できます。日本軽金属グループでは、日軽エムシーアルミを中心に、スクラップから製造したアルミ二次合金を製造・販売しています。自動車分野を中心に、さまざまな分野で再生アルミニウムのニーズにおこたえています。



2 幅広い活躍の舞台と事業基盤

グループの力を結集する《横串》体制で、 幅広くお客様のニーズにこたえます。

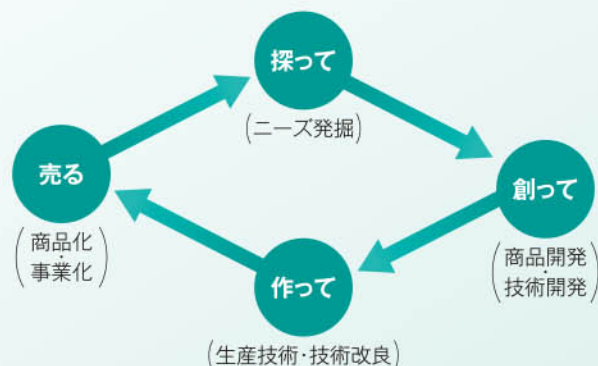
日本軽金属グループ各社の事業領域は実に多彩です。

異なる得意分野を持つグループ各社が連携することで、あらゆる分野のニーズにおこたえています。

Topics

《横串》体制によるビジネス開発を 「チーム日軽金」で実現

日本軽金属グループの総合力は、異なる事業ユニットをマーケットインの発想で横断的につなぐ《横串》体制を基盤とした「チーム日軽金」としての一体感によって発揮されます。全従業員が「お客様のニーズを探索し、解決に導く」というマインドを持ち、「探って、創って、作って、売る」という一連の流れを担うことで、お客様とともに、市場競争力のある付加価値の高い商品・サービスの創出を行っています。



Topics

コーポレート・ガバナンス

日本軽金属グループは持株会社制を導入しており、持株会社である日本軽金属ホールディングスのもと、中核事業会社である日本軽金属及び東洋アルミニウムの2社を中心に事業活動を展開しています。

日本軽金属グループは、グループ全体の戦略の立案・決定、経営資源の戦略的な配分、事業会社の経営監督等を通じて、持続的な成長と競争力の強化を図ることにより、企業価値の増大を目指しています。(運営体制はp23参照) また、コーポレート・ガバナンス強化の一環として、内部統制システムの整備や改善、コンプライアンス態勢の強化、リスクマネジメントに取り組んでいます。さらに日本軽金属グループは、「コーポレートガバナンス・コード」に則した体制の構築と維持に努めています。コードの各原則における対応を着実に実行し、実効性のあるコーポレートガバナンスの実現を目指しています。



「グループ経営方針・コンプライアンスハンドブック」を全従業員に配布し、浸透を図っています。(後方:左から、ベトナム語版、タイ語版、中国語版、英語版、前方:日本語版)

Topics

製品安全・品質向上

日本軽金属グループは、各事業会社が提供する製品やサービスの品質・安全性を確保していくために、ISO9001の認証取得を推進しています。(2020年3月現在57拠点)

日本軽金属ホールディングス社長直轄の「製品安全・品質保証統括室」では、グループ内の品質保証分野の連携と次世代育成を目標に掲げ、さまざまな活動を展開しています。

- ①「品質診断」国内外のグループ各社の品質保証体制を確認する定期品質監査
- ②「品質自主研究会(品質自主研)」現地現物の品質改善活動
- ③「品質総点検」品質月間に合わせた全社イベント
- ④テーマ別の品質教育活動(ISO内部監査員教育、なぜなぜ分析、工程FMEAなど)

製品開発や4M変更においては企画段階から量産開始に至るまでの各ステップでリスクと機会を評価し、最終的に各社の経営トップが安全・品質・法規制の適合を多面的に評価する「審査会議」を実施しています。



品質教育活動
(品質管理基礎教育)



品質診断風景(タイ拠点)

Topics

環境保全・安全衛生

日本軽金属グループの環境経営に関する基本方針は、日本軽金属ホールディングス社長を委員長とし、同役員及びグループ会社社長などで構成される「環境委員会」で審議・決定しています。グループ内で連携を図りながら各工場・事業所で環境活動を実行し、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001(2020年3月現在、国内33、海外11拠点)を基本とし、公害防止はもとより、環境法遵守、温室効果ガスの排出抑制や省エネルギー、生物多様性保全活動などを進め、グループ全体で持続可能な社会を実現する取り組みを進めています。

また、日本軽金属グループでは、「安全がすべてに優先する」という考えのもと、法令遵守、設備の安全化、安全作業の確保、衛生環境の向上、メンタルヘルス対策など、グループを挙げて取り組んでいます。日本軽金属ホールディングスの役員、グループ会社の社長及び労働組合の代表などによる「グループ安全衛生委員会」において、グループ安全衛生方針をはじめとした災害防止に向けた活動方針の決定や、労働安全マネジメントシステム導入状況の確認などを行っています。



環境実務担当者会議
(タイ拠点)



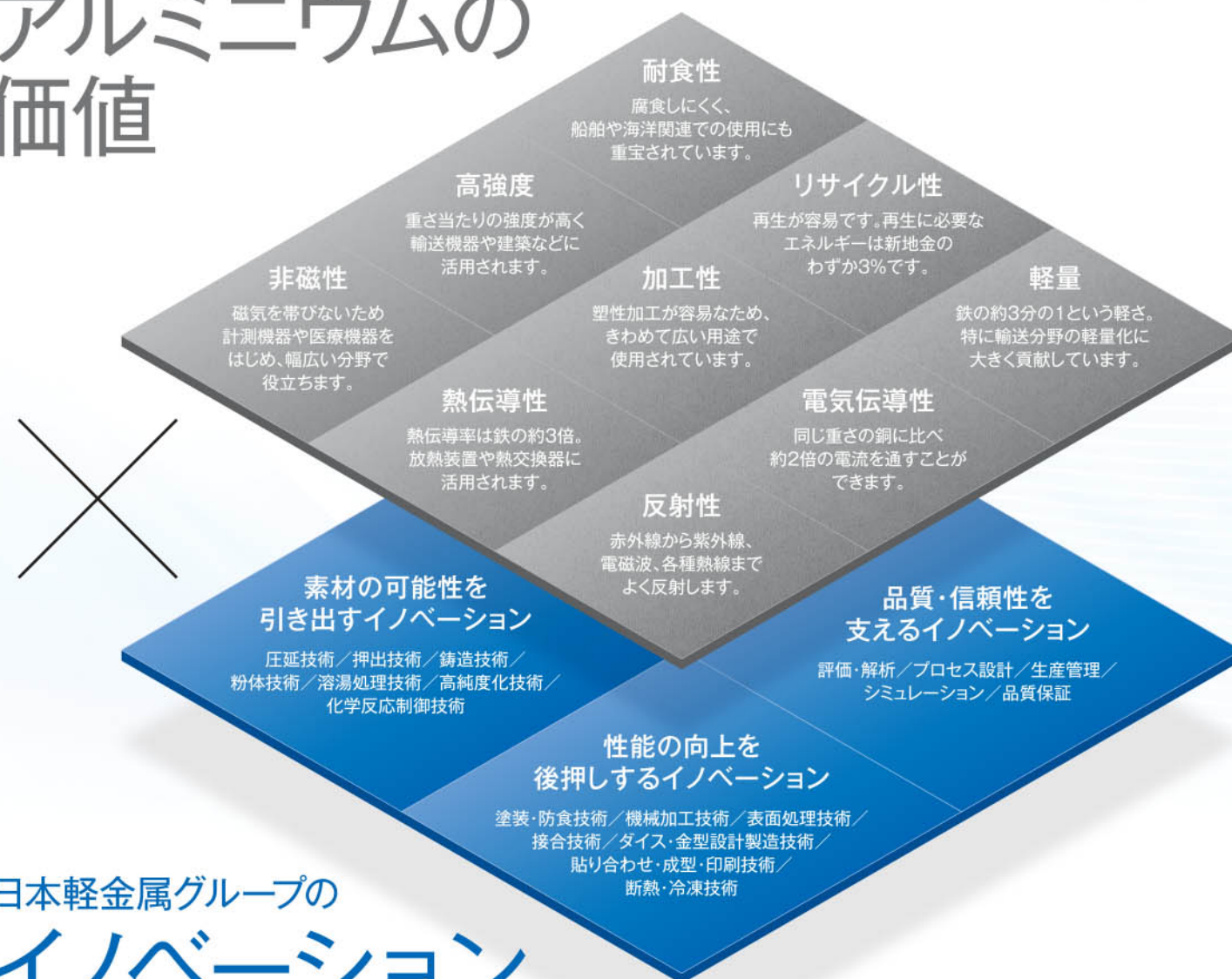
安全体感教育
(VR:バーチャルリアリティー)

3 優れたイノベーション

グループが培ってきた技術と知見を結集し、
高付加価値な商品・サービスの実現を支援します。

アルミニウムという素材に秘められた可能性を最大限に引き出すために、アルミニウムの本来的な価値と、
グループ各社が有するイノベーションをかけ合わせ、オンリーワンの価値創造を目指します。

アルミニウムの 価値



日本軽金属グループの イノベーション

Topics

事業活動を支える水力発電

日本軽金属は、蒲原製造所の電力の安定供給のため、富士川の豊かな水流を活かし、2つのダム、6つの発電所、その他複数の関連設備を有しています。発電量は合計144,500kWで、製造所で必要とする大半の電力を自給しています。

先進的な研究開発拠点

アルミニウムの可能性を広げ、さまざまな課題を持つお客様のニーズにこたえていくために、研究開発力は競争力の源泉となるものです。さまざまな研究開発機関を中核として新たな価値の創造に挑戦しています。

日本軽金属 グループ技術センター

日本軽金属グループ全体の研究開発を担う拠点として、各社が有するイノベーションを効果的に活かした《横串》開発をサポート。お客様のニーズにこたえる製品の実現を通じて、新しいビジネスチャンスを生み出します。



日本軽金属 清水工場／蒲原ケミカル工場

化成品事業の研究開発は工場直結で行われます。清水工場はアルミナ、水酸化アルミニウムに関して国内最高水準のテクノロジーで、スピーディーな開発を実現。蒲原ケミカル工場は、苛性ソーダ、各種無機化合物・有機塩素化合物などのさまざまな化学品を製造し、幅広い産業分野でお客様のニーズに沿った新製品開発を行っています。



東洋アルミニウム 先端技術本部（CTC／TEC）

既存事業のコア技術をベースに先端技術を取り込み、新事業創生に向けた新技術・新製品の研究開発を行うコアテクノロジーセンター（CTC）。事業部に関連した研究開発商品の事業化に向けたサービスを行うテクニカルソリューションセンター（TEC）。この2つの研究部門が東洋アルミニウムの研究開発体制の中核となり、オンリーワン技術・製品を提供します。

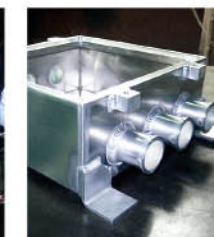


ハイレベルな加工技術

高品質でイノベティブな各種製品は、先進的なテクノロジーと人間の手による技の融合から生み出されるもの。日本軽金属グループには、素材を活かし、素材にさらなる価値を付加する特色ある加工技術が息づいています。

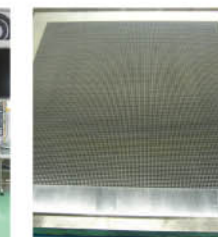
溶接

日軽メタル稲沢工場では、機械に頼ることができない高度な溶接加工を、熟練した職人の技術によりミリ単位の精度で仕上げます。MIG溶接、TIG溶接をはじめ、スポット溶接、極厚板のFSW（摩擦攪拌接合）まで製品に応じた対応が可能です。また、全国でも数少ない「軽金属溶接構造物製造工場M級」に認定されています。



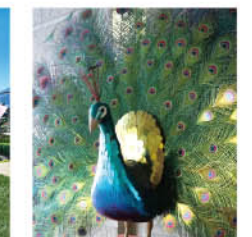
高精度加工

エヌティーシーでは、ろう付け、切削、溶接、組立・組装などの固有技術を持ち、日本軽金属グループにおける高精度な加工を担っています。高難度、高精度、大型など何でも対応できるほか、2014年には「JIS Q 9100」を取得し、高度な品質管理が求められる航空・宇宙・防衛業界に向けての製品も製造しています。



表面処理

東陽理化学研究所では、創業以来培った金属表面処理技術で、金属の美しさと機能性を最大限に引き立てます。ヘアライン研磨やブラスト加工によって金属感を際立たせたり、カラーアルマイトによる色付けのほか、ステンレス自然発色やチタニウム陽極酸化発色など独自技術で塗料を用いずに色付けし、金属製品の付加価値を高めることが可能です。



「試作品を作りたい」、「開発計画を実行したい」、「サンプル材が欲しい」、「試験・検査を依頼したい」など、ちょっと相談したいと思ったら、まずは「試作ドットコム」で検索！

試作ドットコム

検索

※Shisaku.com（試作ドットコム）は日本中から固有技術を有する優秀なメーカー120社を選出し、ネットワーク化することにより、『試作品の製造』に特化したサービスをご提供いたします。既存のネットワークで解決できなかった案件を企業群全力で対応させていただきます。日本の製造業の底力をこの機会にぜひ実感してみてください！

自動車

日本軽金属グループはアルミ総合メーカーのノウハウとグループ力を強みに、
重層的で多面的な課題解決能力を発揮します。

電子・電装部品

アルミ電線、パワーモジュール冷却用水冷器、
LEDヘッドライト用ヒートシンク 他

アクセル・ブレーキ

ブレーキキャリパボディ 他

クライメートコントロール

カーエアコン用 パラレルフロー
サブクール コンデンサー 他

車体・外装部品

バンパーレインフォース 他

内装部品

シートスライドレール 他

塗装

アルベースト 他

パワーコントロールユニット

窒化アルミニウム粉末 他

エンジン・パワートレイン

エンジンマウントブラケット、
インタークーラーパイプ 他

サスペンション・ホイール

サスペンション部品 他



バンパーレインフォース



シートスライドレール



エンジンマウントブラケット



インタークーラーパイプ



LEDヘッドライト用
ヒートシンク



パワーモジュール冷却用
水冷器



車載リチウムイオン
バッテリー用冷却プレート

》Solution [ソリューション]

トータルソリューションの力で、自動車開発に
おける高度な課題を解決に導きます。

日本軽金属グループ

走行性、乗り心地、燃費、環境配慮。自動車に求められるさまざまな性能・価値の向上
のために、軽量化は重要な課題の1つです。特に近年は、先進各国でCO₂排出量の
規制強化が急速に進んでおり、軽量化への要請はますます高まっているといえるで
しょう。そんな中で、比重が鉄や銅の3分の1というアルミニウムは、確実な軽量化を
もたらす切り札として注目されています。

こうした市場背景のもと、日本軽金属
グループは、材料から工法、設計、評価まで
すべてをカバーする一貫体制を強みに、
お客様のニーズに最適化された商品を
提供してきました。開発において「設計」の
壁にぶつかったとき、これを「材料」の開発
により打破するなど、一貫体制を持つから
こそ可能なトータルソリューションを提供
し、お客様から高く評価されています。



》Solution [ソリューション]

電気自動車の熱対策のお困りを、
日本軽金属グループの総合力で
解決します。

日本軽金属 熱交事業部	日軽金アクト
日本軽金属 メタル・素形材事業部	日本軽金属 化成品事業部
日軽松尾	東洋アルミニウム

アルミニウムの特性を活かし、多くの素材・商品を提供し軽量化
による燃費向上はもちろんのこと、走行性や乗り心地に対する
解決策を生み出しています。

近年の自動車は世界中で急速に電動化が進んでいます。日本
軽金属グループは、自動車の電動化に貢献するため、電動化
に不可欠なリチウムイオンバッテリーや、モーターに電気を供給
するパワーモジュールから発生する熱を冷却・制御するアルミ
ニウム冷却器を提供しています。これらの商品は日本のみ
ならず全世界に展開をしています。

》Products [商品紹介]

for センサー、ハニカム、プラグ



セラミック用アルミナ

日本軽金属 化成品事業部

長年培ってきた粉体製造技術を活かし、セラミック材料として必要な特性
を付与したアルミナを提供し、自動車の
燃費向上、安全性向上、環境性能
向上に寄与しています。

for 電気配線



自動車用アルミ電線

日本軽金属 メタル・素形材事業部

燃費やエコの観点から高まっている
軽量化ニーズにこたえて、強度、耐
屈曲性に優れたアルミ合金線を提
供しています。

for サスペンション



サスペンション部品

日軽金アクト

部品ごとに、開発合金を含めた材質
の選定、押出、鍛造など最適な工法
を採用し、形状設計から単体実験ま
でを行うことで、ニーズに合った部
品を提供しています。

for ブレーキ



ブレーキキャリパボディ

日本軽金属 メタル・素形材事業部

独自技術によるアルミパイプ鋳包み
を用いて一体型キャリパボディ鋳物
を製造。高剛性と軽量化を同時に達
成しています。

for サンルーフガイドレール



サンルーフガイドレール用部材

日軽金アクト

押出、アルマイト、加工の一貫生産
により、品質・コスト競争力に優れた
製品を提供しています。日本・欧米・
中国において幅広い車種に採用さ
れています。

for 塗装



メタリック顔料アルベースト®

東洋アルミニウム

コイン状の形状と滑らかな表面を持
つ、意匠性の高いアルミ顔料で、自
動車の上塗りを使用されています。
金属感の強い仕上がりが特徴です。

for エンジン・駆動装置



耐摩耗性アルミ合金 NH41

日軽エムシーアルミ

耐摩耗性能と取り扱いやすさを両
立したアルミ合金。ミッションやコン
プレッサーなどの部品に使用され、
部品製造時のランニングコストの低
減に貢献します。

for エアコン



カーエアコン用 パラレルフロー サブクール コンデンサー (IPFC)

日本軽金属 熱交事業部

日軽熱交

独自のアルミ材料開発による優れた熱伝導
性・強度・耐食性を兼ね備えたオールアルミ
製のコンデンサーは、高性能、省スペース、
軽量化等のニーズにおこたえします。

Topics

溶湯から直接板材を得る独自工法 フレックスキャスト法を採用。

日本軽金属 板事業部

鋳造から均質化処理、熱間圧延を経る従来工法に対し、溶湯から直
接板材を得る工法が、フレックスキャスト法です。フレックスキャスト
法では、従来工法に比べ、同じ化学成分で約15%の強度向上、鋼板
と同レベルの深絞り性を実現しました。高強度・高成形性が求めら
れる部材に適用されています。



自動車フードインナー材
(フレックスキャスト法で製造した板材)

世界初 高速鋳造法による 二輪用ブレーキキャリパ。

日軽松尾

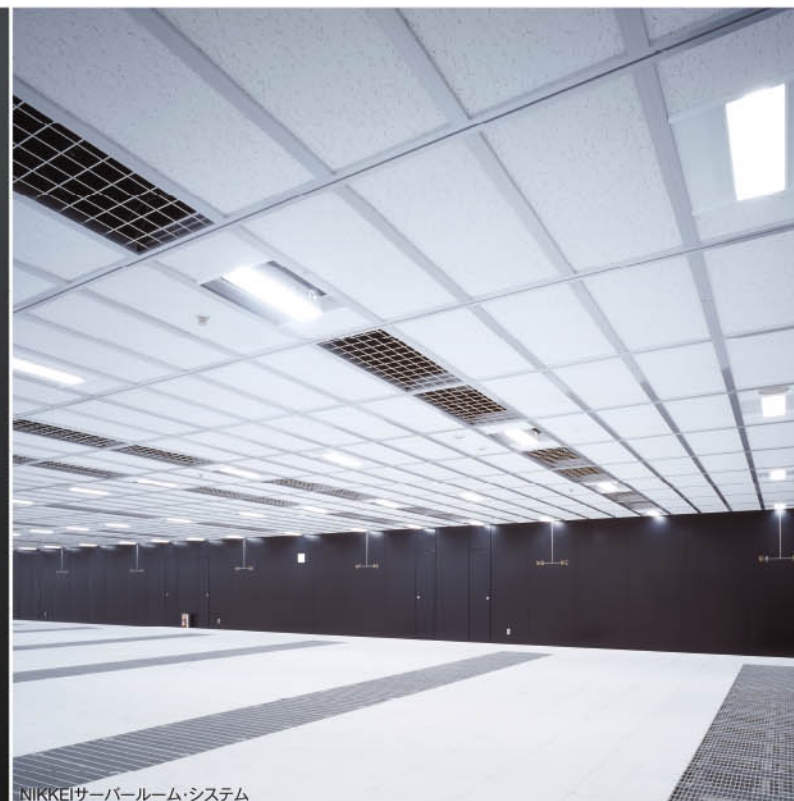
重要保安部品であるブレーキキャリパには、特に耐圧機能と剛性が
求められるため、内部品質の高さが重要な必要特性となります。従来、
重力鋳造法が用いられるケースが多いブレーキキャリパですが、日本
軽金属グループでは、独自のダイカスト技術 (PFDC) と開発合金を
用いて、高速鋳造法では世界初となる
二輪用ブレーキキャリパの量産に成功。
従来製法の製品と比べて、軽量で高い
意匠性を兼ね備えることができ、市場
から非常に高い評価を得ています。



二輪用ブレーキキャリパ

電機・電子、情報通信

進化し続ける各種製品の高度化に伴って、軽量で熱伝導性、電気伝導性、高強度性などに優れたアルミニウムの需要が拡大しています。



NIKKEIサーバルーム・システム

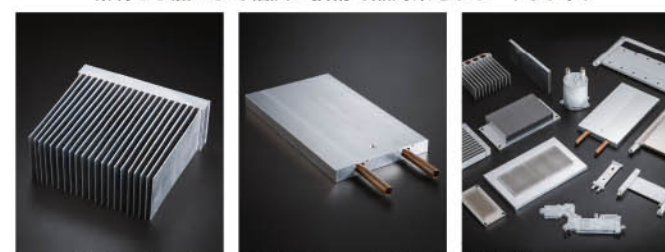
》Solution [ソリューション]

深刻な熱対策のお困りごとを、
日本軽金属グループは
アルミメーカーの総合力で解決します。

日本軽金属 熱交事業部	日軽金アクト	日本軽金属 メタル・素材事業部
日本軽金属 化成事業部	日軽松尾	東洋アルミニウム

世界的に大きな変化を見ている車の電動化、ますます進化を続ける通信ネットワークの高速化など、あらゆるシーンで、電子機器は必要不可欠です。常にその高性能を求められ、それに伴う熱対策が機器設計の深刻な課題としてのしかかっています。日本軽金属グループは、解析・設計技術とともに、素材から加工、製品化へのものづくり技術を駆使し、最適な熱対策ソリューションを提案し続けています。

素材から加工まで幅広い技術で熱対策をサポートします。



ハイトング押出ヒートシンク バイブ埋設型コールドプレート 熱対策商品一例

》Solution [ソリューション]

社会に欠かせない
情報通信ネットワークを
設備面からサポートしています。

日軽金アクト	日軽パネルシステム	エヌ・エル・エム・エカル
日軽産業		

情報通信ネットワークは私たちの生活のさまざまなシーンで役立っています。その快適な利用環境を支えるために、軽量で剛性の高い製品特性を必要とする通信機器関連商品に対し、高い設計技術や技術のバリエーションを駆使し、商品化の実現に寄与しています。



携帯電話基地局用局舎

NIKKEIサーバルーム・システム

二重床

》Products [商品紹介]

for エレクトロニクス



ICカード用エッチング回路箔

東洋アルミニウム

エッチング回路箔として高い機能を付与することで、交通機関や銀行の非接触ICカードの普及に貢献しています。

for エレクトロニクス



アルミ電解コンデンサー

日本軽金属 電極箔事業部

アルミ電解コンデンサーの主要材料であるアルミ電極箔の開発を、同分野のトップメーカーである日本蓄電器工業株式会社と共同で展開。高品質な製品を提供しています。

for モバイル機器



高品質アルマイト板材

日本軽金属 板事業部

きめ細かな面質の、黄味のない均質な色調のアルマイト板材です。安定した品質で、歩留りが飛躍的に向上します。

for モバイル機器

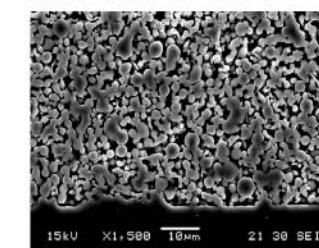


サファイア基板用高純度アルミナ

日本軽金属 化成事業部

アルミナ製造時の精製度を極限まで上げた、高純度アルミナをラインアップ。LED基板、携帯電話のカバーガラスなどさまざまな用途に利用されています。

for エレクトロニクス



粉末積層箔

東洋アルミニウム

アルミ箔とアルミ粉末の焼結により、表面積の大きな多孔質体を形成させた素材です。心臓の除細動器の電極用に活用されています。

for デジタルOA機器



ポリゴンミラー・感光体ドラム

日軽金アクト

レーザープリンターなどのデジタルOA機器に求められる高反射率を実現したポリゴンミラー用素材や高精度感光体ドラム切削管を製造。印刷品質の向上に寄与しています。

for エレクトロニクス



高導電性板材・部品

日本軽金属 板事業部

導電性・強度の要望にこたえるため、各種ラインアップを用意しています。形状も板・コイル・部品のいずれにも対応します。接触抵抗低減のための表面処理(めっき、導電グリス塗布)もご相談ください。

for モバイル機器



光輝性アルマイトダイカスト合金

日軽エムシーアルミ

陽極酸化処理と呼ばれる工程により美しい発色を実現したダイカスト用アルミ合金です。スマートフォン筐体など、美観が求められる用途に適しています。

Topics

アルミニウムと樹脂を一体化させたハイブリッド素材を開発。

日本軽金属 板事業部

アルミニウムには放熱・導電・吸熱などの性質が、樹脂には断熱・絶縁・耐薬品性などの性質が備わっており、電機・電子分野では両素材を組み合わせて使用する機会が多くあります。日本軽金属グループでは、アルミニウムと樹脂とを接合する技術を開発し、ハイブリッド素材の製造に成功しました。スマートフォン筐体など、さまざまな用途への適用が期待されます。



ハイブリッド素材(スマートフォン筐体試作品)

世界最高水準の純度を誇る高純度アルミニウム。

日本軽金属

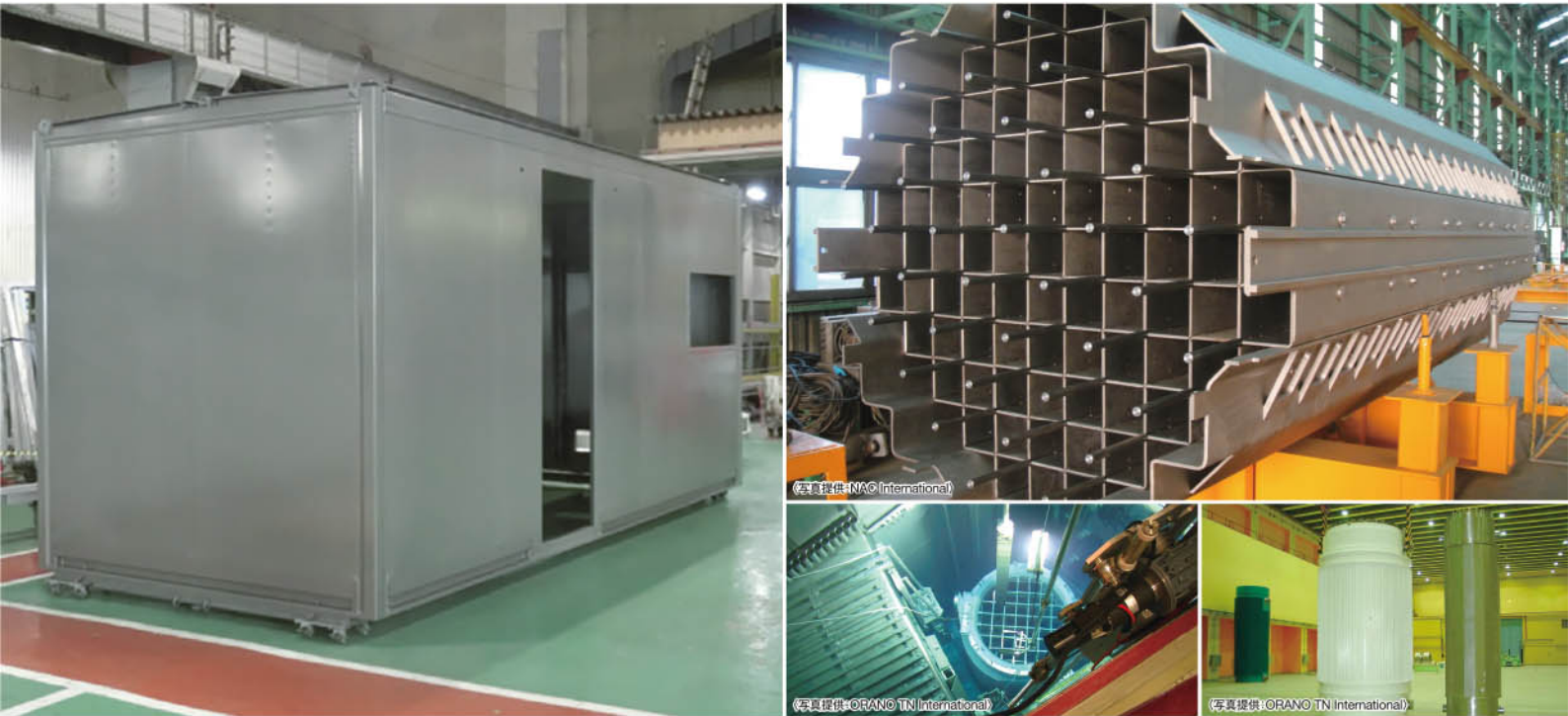
アルミニウムは、純度が高いほど導電性や反射率も高くなります。そのため電機・電子分野では、より高純度のアルミニウムを求められる場合があります。日本軽金属グループでは、工業生産レベルで世界最高水準となる99.9999%(6N)の高純度アルミニウムを生産し、多様なニーズにおこたえています。



高純度アルミニウム

環境・安全・エネルギー

アルミニウムが本来的に持つ環境特性と日本軽金属グループの技術開発力を活かして、さまざまなシーンで安全と環境保全に貢献しています。



》Solution [ソリューション]

地球上のあらゆる厳しい環境から、
精密機械を守る
「極限環境用可搬式ITコンテナ」

エヌ・エル・エム・エカル	東洋アルミニウム
日軽パネルシステム	日本軽金属

近年、IoT化やAI活用が急速に進み、デジタル・通信機器をはじめ、多くの精密機器が、地球上のあらゆる場所で活躍しています。日本軽金属グループが開発した可搬式ITコンテナは、極寒・酷暑・砂漠・重塩害・強紫外線地域に設置されるすべての精密機器用アウターシェルとして、注目されています。

●極限環境機能

- ①外気温遮断性±40℃ ②耐候性(重塩害・高湿度・UV)
- ③耐摩耗性(サンドブラスト性) ④高電磁波シールド性(GHz帯まで約40dbの減衰量)
- ⑤長期耐久性(通常塗装の5倍寿命) ⑥避難対応(可搬式)

》Solution [ソリューション]

長年蓄積した日本軽金属グループのノウハウを活かし、
高水準の強度と耐食性をもつ、最適な水素蓄圧器用アルミ素材を提供

日軽金アクト	日本軽金属
--------	-------

水素ステーションなどで使われる水素蓄圧器は、これまで鉄製のものが主流でした。しかし、近年の水素需要の高まりを受け、軽量化による設置の容易さやコスト低減、据え置き型だけでなく、移動式の需要など、ニーズは多様化しています。日本軽金属グループは、長年蓄積した合金開発・鍛造・押出の技術を用い、加工後の強度や耐食性を高水準で満たす「高強度6000系押出管」を開発しました。水素社会のさらなる発展に向けて、貢献していきます。



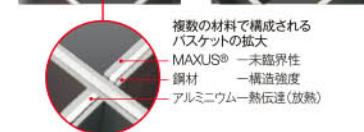
》Solution [ソリューション]

使用済燃料収納容器用板材
『MAXUS®&NEXUS-3000®』

日軽金アクト	日本軽金属	東洋アルミニウム
--------	-------	----------

アルミ粉末に中性子吸収機能をもつボロンを混合したMMC材。日本軽金属各事業部の知見・ノウハウや、東洋アルミニウムの粉末技術などを活かして、これまでにない高機能材料の量産化を実現しました。使用済燃料収納容器のバスケット材に要求される中性子吸収性能を備えたAl-B₄C複合材料を、最適な工法で製造し、お客様のご期待におこたえます。

- 乾式キャスクバスケットのイメージ図
- 複数の材料で構成されるバスケット
MAXUS®: 鋼材、アルミニウム
- 単体の材料で構成されるバスケット
NEXUS-3000®



》Products [商品紹介]

for 太陽電池



トータルソーラー®

東洋アルミニウム

太陽電池モジュールのバックシート材料です。太陽電池モジュールの寿命を飛躍的に向上させる効果があり、世界各国のメーカーから認められています。

for アルマイト工場、印刷版工場



アルカリ回収装置

日軽産業

アルミ表面処理のエッチング工程から発生する苛性廃液を、苛性ソーダと結晶性水酸化アルミニウムに分離して回収再利用する装置。得られた苛性ソーダはエッチング工程に再利用可能。結晶性水酸化アルミニウムは製品として販売することができます。

for 防災設備



防災倉庫

エヌ・エル・エム・エカル

物品を長期間確実に保管できる信頼性の高い防災倉庫を提供しています。ソーラー電源を搭載したタイプもラインアップしています。

for 制震



ブレースリー®

日軽金アクト

アルミ材履歴ダンパーによるエネルギー吸収機能を備えたアルミ製筋交いで、地震による木造住宅の揺れを低減し、家の地震対策に安心・安全・安価でこたえます。

for 太陽電池



Hane™ Module 軽量太陽電池モジュール

東洋アルミニウム

従来の太陽電池モジュールと性能は同等のまま、重量を約半分にしたもので、これまで設置が困難だった場所(例:工場や倉庫の屋根、カーポート、バス停や駐輪場の屋根、ビルや大型施設の壁など)にも導入可能となりました。

for 防災設備



給水コンテナ

日軽金アクト

軽量で耐食性の高いアルミニウムの特性を活かして、災害時の給水活動に貢献する給水コンテナを開発。折り畳み可能で収納性UP、内袋を使用することで衛生的です。

for 土壌



塩化アルミニウム6水和物

日本軽金属 化成事業部

塩化アルミニウム6水和物を散布し、土壌を日本古来の酸性にコントロールすることで、外来植物の生育を抑制。日本古来の植生環境の保全に貢献します。

for 耐震



耐震補強工法ブレース

日軽エンジニアリング

多様な工法で既存建物に合った耐震補強を行います。アルミ合金を使用しているため、優れた耐食性を示すほか、再生時に少ないエネルギーで再生地金ができるため、環境に配慮した素材で経済的にも優れています。

Topics

環境と健康に配慮した
クロムフリー・カラーアルミ『日軽エコラス』。

日本軽金属 板事業部

これまで、耐食性及び基材と塗膜の密着性を向上させるためには、塗装の前処理で六価クロムを含む処理剤が使われてきました。しかし、六価のクロム化合物には強い毒性があることが知られており、世界的に規制されるようになってきました。日本軽金属グループでは、世に先駆けて、クロムや鉛などの環境負荷物質を一切使用せず、ELV規制、WEEE、RoHS指令などの基準をクリアする、完全クロムフリーのカラーアルミ『日軽エコラス』を開発しました。自動車・輸送・建築分野などで活用されています。



日軽エコラス

地下インフラ工事で活躍する
「アルミマイクロチャンネル凍結管」

日軽産業

地下鉄や下水道、高速道路の地中トンネルや駅ビル・ショッピングセンターの地下フロアなど、地下構造物を建設する際には、地盤凍結工法が使われることがあります。地盤凍結工法は、コンクリートや薬剤で地盤を固める工法と違い、工事終了後は融解して、地中に何も残さないことから、環境にやさしい工法と言われています。日軽産業のアルミ偏平管の両端に継手をろう付けした熱交換器は、「アルミマイクロチャンネル凍結管」と言い、この地盤凍結工法に多く使用されています。



●マイクロチャンネル凍結管
凍結し、地盤が崩れないようにして掘削工事を行う

掘削現場の内壁に貼付け 掘削現場を凍結

4 公共・景観・建築

省エネルギー性や耐久性の向上など、安全・安心・快適な暮らしの環境を作り、機能性と意匠性の両面に優れた空間作りを実現します。



》Solution [ソリューション]

空気の振動を共鳴により制御、
アルミ吸音材「アルミッシモ」、快適な音環境を実現します。

理研軽金属工業

日本軽金属

アルミッシモは、ヘルムホルツ共鳴器の構造を組み込んだアルミ内装仕上材です。音の響きを調整し、用途に応じた快適な音環境を提供することが可能です。内装仕上材として必要な〈吸音〉〈不燃〉〈軽量〉〈デザイン性〉の要素をすべて盛り込んだアルミッシモは、駅舎や図書館、教育施設などさまざまな場所でご利用いただけます。

●「アルミッシモ」の特徴

吸音

- ・吸音性能が実証されているヘルムホルツ共鳴器の構造を利用した仕上材
- ・グラスウール等の裏打ち材を使用せず、アルミニウムのみで吸音材料を構成

不燃

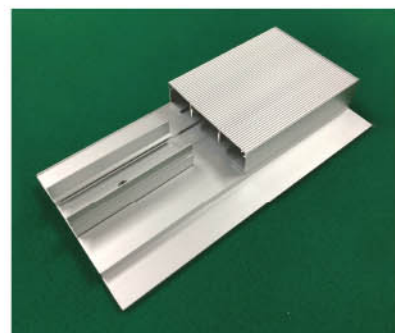
- ・不特定多数の人が集まる屋内の仕上材には必要不可欠
- ・個別不燃材料認定取得[NM-3448]

軽量

- ・オールアルミなので軽量
- ・国交省告示第771号 特定天井「仕様ルート」に対応

デザイン性

- ・豊富なカラーバリエーション、自由な組み合わせで、思い通りの空間を演出



アルミッシモ型材断面

》Products [商品紹介]

for 公共空間

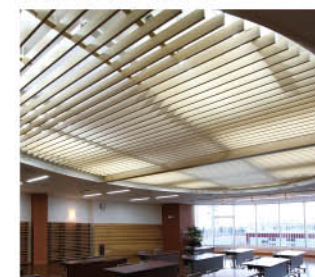


駅前総合開発

日軽エンジニアリング

ペデストリアンデッキ、各種シェルターなど、景観性が良く、人にやさしい施設として、地域環境に溶け込む最適な施設をご提案します。

for 建物(内外装)



内外装ルーバー

理研軽金属工業

目隠しや遮光、通風などの目的にはもちろん、建築意匠としても活用できる多彩なデザインのルーバーをラインアップしています。

for 塗装



ステンシェル® サビコナーズ

東洋アルミニウム

高品質のステンレスフレークを含有することにより丈夫な塗膜を形成し、優れた耐久性と高い防錆力のある塗料となり、塗装工程を低減できるため経済性および施工性の向上、工程の短縮を実現しました。

for 建物(天井)



耐震天井NEQRES(ネクレス)シリーズ

日軽パネルシステム

新・耐震基準に適合した耐震天井。圧縮プレースの採用により、設計許容耐力が従来の2倍、プレース量の減少による部材コストの削減、天井スペースの有効活用を実現しました。

for 冷凍冷蔵庫(業務用)



冷凍冷蔵庫用断熱パネル

日軽パネルシステム

食品流通のグローバル化やHACCPニーズに対応し、きめ細かな温度管理が可能な冷凍・冷蔵庫用パネルシステムを提供しています。

for 異物混入防止安全確保



アルミ製浄水場覆蓋-可動式

日軽エンジニアリング

浄水場では、槽内の藻類の発生防止、ごみ・落葉・鳥の糞などの飛来防止並びにテロ対策設備として、覆蓋が設置されています。アルミ製覆蓋は、軽量で塩素系薬品や紫外線による劣化に強く、耐食性に優れています。

Topics

断熱・不燃・環境性能を追求した
ノンフロン断熱不燃パネル「ジェネスタ不燃®」。



日軽パネルシステム

「ジェネスタ不燃®」は、オゾン層破壊係数ゼロ、地球温暖化係数もほぼゼロという環境配慮型のノンフロン断熱パネルです。世界で初めて*1HFO*2を使用することで、断熱パネルのノンフロン化を実現。これが評価され、2015年の「第18回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」で審査委員会特別賞を、2018年の「第27回地球環境大賞」で日本経済団体連合会会長賞を受賞。環境性能だけでなく、防火材料認定(不燃)の取得により、食品工場や冷凍・冷蔵倉庫に求められるハイレベルな断熱・不燃性能へのニーズを満たしています。

*1 注入発泡式金属サンドイッチパネルにおいては世界初。(日軽パネルシステム調べ)
*2 HFO=ハイドロフルオロオレフィン



「ジェネスタ不燃®」を使用した食品工場

桁点検と長期保全のための
アルミ合金製常設足場「cusa キュウサ」

日軽エンジニアリング

「道路法施行規則の一部を改正する省令」により橋梁の「近接目視」点検が求められています。「cusaキュウサ」は、作業用足場と点検用足場を兼ね、橋梁の近接目視を可能にしたアルミ合金製常設足場です。

●特徴

- ・橋梁の近接目視点検の作業性向上
- ・設置作業は足場内部からの送り出し施工
- ・橋梁本体への塩害防止対策
- ・橋梁外の第三者被災の防止
- ・補修や改修時の作業用足場として使用可能

本商品は、(株)横河ブリッジと日軽エンジニアリング(株)の共同開発商品です。

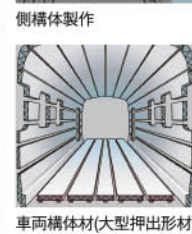
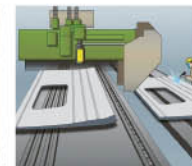


岩松川橋上部工事

バース

輸送

アルミニウムの特性や独自の加工技術を活かした製品開発に注力し、新幹線をはじめ多種多様な輸送分野のニーズにこたえています。



》Solution [ソリューション]

日本軽金属グループのテクノロジーで、環境性と快適性を両立した鉄道車両に貢献していきます。

日軽金アクト

日本軽金属 板事業部

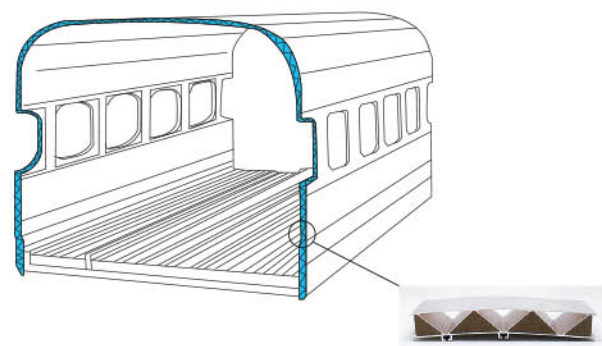
高速走行を実現するために、新幹線の車両開発においては、軽さと強度を両立できる素材が求められます。日本軽金属グループは、国内屈指の大型中空押出形材製造技術をバックボーンに、軽量で高強度なアルミ材「アルミ合金製ダブルスキン構造材」を開発・製造。ダブルスキン構造材とは、三角形を組み合わせたトラス形状の断面を持つ構造材のことです。高強度であるため、柱が不要となり、ゆとりある車内スペースを確保できるほか、中空部分に制振材を充填することで振動低減も同時に実現。居住性の向上にも貢献しています。

このような日本軽金属グループのソリューションは東海道・山陽新幹線はもちろん、東北新幹線や北陸新幹線にも採用されるなど、そのフィールドは広がっています。グループ独自の技術ノウハウを活用して、新幹線以外の鉄道における車両のオールアルミ化に寄与していきます。



高精度押出技術

国内有数の大型押出機を用いて、形状が複雑な上に薄さと精度が要求される新幹線の構造材を製造しています。



アルミ合金製ダブルスキン構造材

》Products [商品紹介]

for 貨物輸送



バントラック

日本フルハーフ

小型から大型まで、積載効率・荷役効率や水密性を追求した多彩なバントラックを提供しています。

for 貨物輸送



温度管理車

日本フルハーフ

ノンフロン断熱材の採用、オリジナル冷凍機「チルノ」の開発など、特色ある冷凍冷蔵車を、多彩にラインアップしています。

for 貨物輸送



コンテナ

日本フルハーフ

鉄道モーダルシフトなど、貨物輸送のシステム化に対応するコンテナを提供。各種物流網との連携を実現します。

for 貨物輸送



トラック用アオリ

日軽金アクト

トラック荷台の積載物落下防止のための囲いとして用いられます。高強度、軽量性、耐久性、荷台を広く使えるアオリは、ウイング車などに架装され日本全国の陸上輸送を支えています。

for 運搬



アルミブリッジ

日軽金アクト

溶接用高強度アルミ合金を使用。軽量かつ確かな強度で、建設機械・農業機械の積み降ろしを支えます。

for 貨物輸送



ウイングルーフ

日本フルハーフ

荷役効率が高く大量輸送に適したウイングルーフ。そのパイオニアとして先進的で高機能な車両を開発しています。

for 貨物輸送



トレーラ

日本フルハーフ

バントレーラからコンテナシャシ、ウイングトレーラ、フルトレーラまで、大量・高速輸送・航送の担い手となる多彩なトレーラを提供しています。

for 貨物輸送



省力機器

日本フルハーフ

荷役業務の効率化・省力化をもたらすテールゲートリフターなど、さまざまな省力機器を提供しています。

for 輸送



エアロール

日軽金アクト

パレット荷役作業による省力化を実現した商品を提供しています。エア駆動のため環境にも優れた商品で、飲料製品や医薬品の配送にも使用されています。

for 荷役・輸送



アルミパレット

日軽金アクト

静電気を帯電せず、衛生面でも優れたアルミ製パレットを製造。液晶、製薬、食品、印刷、製紙など、幅広い分野の物流に活用されています。

Topics

タイで活躍する2トントラック用の軽量ドライバン「KaruBo」。

日本フルハーフ

タイの首都バンコク市内では、法規により車両重量が2.2トンを超える車両は6時～9時、16時～20時は通行することができません。そのため市内の小口配送は軽量のピックアップトラックが主流です。そこで現地のグループ会社フルハーフマハジャックは2トントラック用の軽量ドライバン「KaruBo」を開発し、車両重量を2.2トン以下に抑えました。これにより容積はピックアップトラックの1.4倍に増加し、市内配送の輸送効率を高めるとともに、物流費の低減にも貢献しています。



軽量ドライバン「KaruBo」(2トントラック用)

食品・健康、工業製品

高性能素材で環境に配慮しつつ、徹底した顧客志向で、暮らしに役立つ身近な商品を提案し、食品・健康、工業製品分野に貢献します。



》Products [商品紹介]

for 医薬品



リードマックス®

東洋アルミニウム

白地着色なしでもバーコードの読み取りを可能にした、医薬品のタブレット包装材用のアルミ箔です。

for 食品



アルミ樽 ディスペンサー洗浄樽

日本軽金属 容器部

絞り技術やしごき技術を駆使して、3リットルの大型ビール樽やディスペンサー洗浄樽などの開発・製造を行っています。

for 食品



食品工場向け断熱パネル

日軽パネルシステム

異物混入や交差汚染などのリスクを低減させるとともに、省エネ対策など食品工場の安全・品質確保の高まるニーズに対応した高断熱・不燃性能を持ったパネルです。

for 各種産業



殺菌剤・工業用酸化剤

日本軽金属 化成事業部

日本軽金属が世界で初めて工業化に成功した固形次亜塩素酸ナトリウムです。食品や飲料水などの殺菌剤や種々の有機合成反応での酸化剤として利用されています。

for スポーツ



サイクルシェルフ

理研軽金属工業

ロードバイクなどのスポーツ自転車を、壁に立てかけたり、床に直置きしたりせずに室内保管・展示できるアルミ製シェルフです。簡易的なメンテナンスも可能で、ラック部にはサイクリング用アイテムも収納できます。

for 食品・医薬品・工業材



撥水包装材料

「トーヤルロータス®」

東洋アルミニウム

蓮の葉が水を弾く性質をヒントに最新のナノテクノロジーを駆使。ヨーグルトの蓋の裏側に内容物が付着しない包装材として開発され、用途も拡大中。

for 食品・包装材



印刷インキ用 TDシリーズ

東洋アルミニウム

環境に配慮した酢酸プロピルや酢酸エチルなどを溶剤に用いたノントルエンタイプのアルミ顔料です。残留臭気が少ないため、食品のパッケージ、飲料缶などに適しています。

for 化粧品



干渉色アルミニウム顔料

「Cosmicolor®」

東洋アルミニウム

メッキ層とアルミフレークの反射光が干渉し、角度によって異なる色調で発色する顔料です。化粧品分野での利用が進んでいます。

for 工業製品



高炉用カーボンブロック

日本電極

世界No.1ブランドを誇り、高品質・高精度で20年超の長寿命を達成。国内はもとより、世界中の大型高炉で数多く採用されています。

for 工業製品



カソードブロック

日本電極

近年電解炉においては、長寿命、高効率に寄与する高品質な商品が求められています。多様な商品ラインナップから、お客様に合う品質の商品提供と新商品の開発を行っています。

Topics

軽くて持ち運べる 簡単に組み立てられるスポーツサイクル用「アルミサイクルスタンド」。

理研軽金属工業

軽くて手軽に組み立てられるアルミサイクルスタンドです。1,150mmから1,700mmまでの伸縮式で、最少1台から最大5台までサドルを掛けて設置できます。コンビニやサイクリング先での喫茶店、自転車店、レース会場、ライドイベント会場、ホテル、旅館の駐輪場などさまざまな場所で活躍します。折り畳み式で専用の収納袋も付属しているため、手軽に持ち運びができます。



スポーツのフィールドで、日本軽金属グループの商品が活躍しています。

日軽金アクト

日本軽金属グループの製品が活躍するフィールドは実にさまざま。スポーツ分野もまたその1つです。2002年日韓共同開催されたサッカーのワールドカップでは、日本の10会場のうち、7つの会場で日軽金アクト製のゴールが使用されています。そのほかラグビー場のゴールポストやスタジアムのベンチ、野球場のファールボール、バックネット、バスケのゴール、テニスコートのボール、釣り具など。さらに最近では、金属バット向けに開発した合金素材も提供しています。



連続式縦型黒鉛化炉によるリチウムイオン電池負極材原料の黒鉛化処理

日本電極

リチウムイオン電池負極材製造に不可欠な黒鉛化工程を独自の連続式熱処理技術により、省電力化と生産リードタイムの短縮を実現しました。経済的メリットに加え、環境への負荷低減にも貢献しています。



天然由来原料100%のカーボン電極を開発

日本電極

環境に配慮した、天然由来原料100%のカーボン電極を開発しました。高昇華効率、サステナビリティが評価され、アーク放電法によるフラーレン製造に採用されています。フラーレンは、サッカーボール状の炭素構造をもつ炭素同素体です。1985年に発見され、さまざまな分野での応用が期待されています。





トーヤルヨーロッパ社



東陽精密機器(昆山)有限公司



日輕(上海)汽車配件有限公司



山東丛林福祿好富汽車有限公司



トーヤルアメリカ社

トーヤルヨーロッパ社

- 山東丛林福祿好富汽車有限公司
- 山東日輕丛林汽車零部件有限公司
- 日輕(上海)國際貿易有限公司
- 日輕(上海)汽車配件有限公司
- 東洋愛鋁美國國際貿易(上海)有限公司

- 蘇州東洋鋁愛科日用品製造有限公司
- 東洋鋁愛科商貿(蘇州)有限公司
- 日輕商菱鋁業(昆山)有限公司
- 東陽精密機器(昆山)有限公司
- CMR・ニッケイ・インドニア
- トーヤルMMPインドニア社

- 湖南寧鄉吉唯信金屬粉體有限公司
- 廣西正潤日輕高純鋁科技有限公司
- 肇慶東洋鋁業有限公司
- 深圳華加日鋁業有限公司
- 華日輕金(深圳)有限公司

- ニッケイ・サイアム・アルミニウム
- フルハーフマハジャック
- トーヤル(タイランド)社

- ニッケイ・パネルシステム・ベトナム
- ニッケイ・エムシーアルミ・タイ

- ニッケイ・シンガポール・アルミニウム

- PT・ニッケイ・トレーディング・インドネシア

- 長春日輕軌道客車裝備有限公司

- 三亜アルミニウム社

- セントロ・ニッポンフルハーフ・クルテック

〈日本拠点〉

- 日輕新潟株式会社
- 株式会社東陽理化学研究所
- 日輕松尾株式会社
- 日輕メタル株式会社
- 日輕形材株式会社
- 株式会社エヌティーシー
- 東洋アルミニウム株式会社
- 東海東洋アルミ販売株式会社
- 東洋アルミエコープロダクツ株式会社
- 日輕北海道株式会社
- 日輕エンジニアリング株式会社
- 日輕エムシーアルミ株式会社
- 日輕金アクト株式会社
- 日輕物流株式会社
- 日輕パネシステム株式会社
- 日輕情報システム株式会社
- 日本輕金屬株式会社
- 清水工場
- 蒲原製造所
- 名古屋工場
- 苫小牧製造所
- 船橋工場
- グループ技術センター
- 日本フルハーフ株式会社
- アルミニウム線材株式会社
- 株式会社エヌ・エル・エム・エカル
- 日輕蒲原株式会社
- 日本電極株式会社
- 理研輕金屬工業株式会社
- 日輕産業株式会社

- トーヤルアメリカ社
- ニッポンライトメタル・ノースアメリカ
- ニッポンライトメタル・ジョージア
- ニッケイ・エムシーアルミ・アメリカ
- TST・ニッケイ・メタルズ



ニッケイ・サイアム・アルミニウム



CMR・ニッケイ・インドニア



フルハーフマハジャック



ニッケイ・エムシーアルミ・アメリカ

- アルミナ・化成品、地金事業
- 板、押出製品事業
- 加工製品、関連事業
- 箔、粉末製品事業
- 販売マーケティング拠点

日本輕金屬グループのグローバルネットワーク

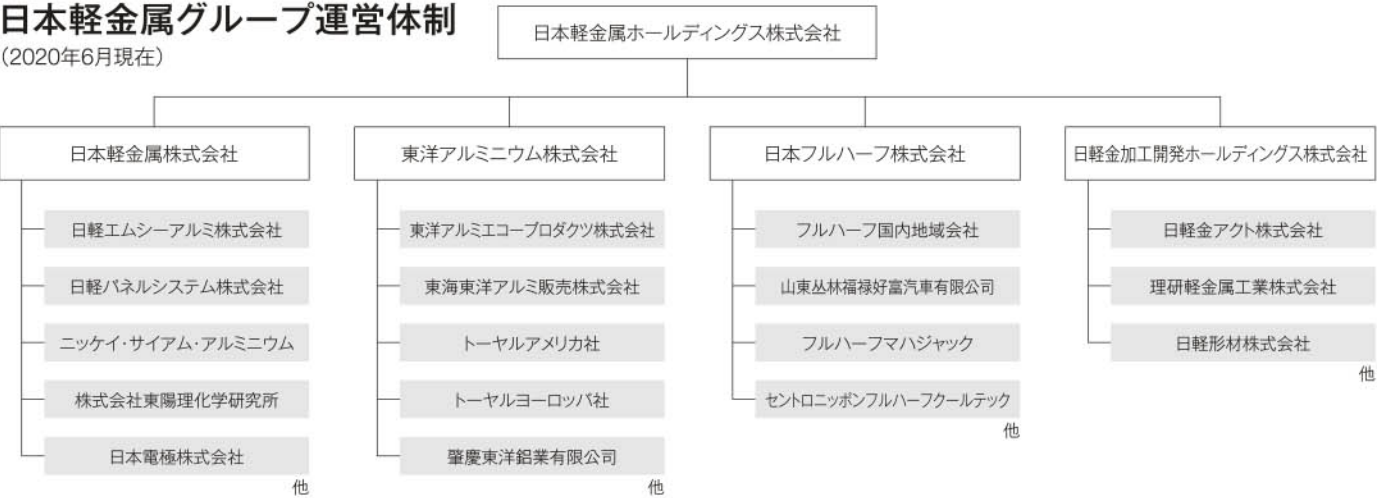
お客様のグローバル化の高まりにこたえるため、世界にネットワークを広げています。

会社概要

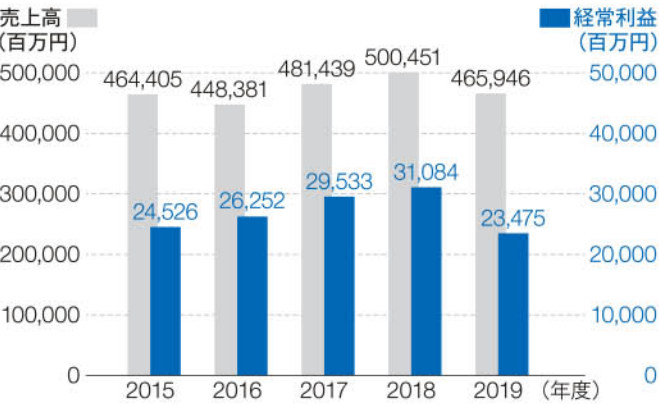
社名	日本軽金属ホールディングス株式会社
英文社名	Nippon Light Metal Holdings Company, Ltd.
本店所在地	東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル
設立	2012年10月1日
資本金	465億2,500万円
売上高	465,946百万円(連結)
従業員数	13,611人(連結)

※ データは全て2019年度、または2020年3月末現在

日本軽金属グループ運営体制
(2020年6月現在)



連結指標



役員 (2020年6月24日現在)

取締役		
代表取締役社長	岡本 一郎	取締役 田中 俊和
取締役	村上 敏英	取締役 早乙女 雅人
取締役	岡本 泰憲	取締役 小野 正人※1
取締役	楠本 薫	取締役 林 良一※1
取締役	昼間 弘康	取締役 伊藤 晴夫※1
取締役	安達 章	取締役 早野 利人※1
取締役	富岡 祥浩	取締役 土屋 恵子※1
		※1 社外取締役
監査役		執行役員
常勤監査役	松本 伸夫	執行役員 外池 稔
常勤監査役	安田 耕太郎	執行役員 真田 一人
監査役	吉田 昌弘	執行役員 市川 雅一
監査役	佐藤 美樹※2	執行役員 杉山 和義
監査役	川合 晋太郎※2	執行役員 麻生 敏
監査役	金 仁石※2	
	※2 社外監査役	

日本軽金属グループの歩み

1939年、古河電気工業(株)と東京電燈(株)(後の東京電力(株))の提携により、アルミ製錬会社として「日本軽金属(株)」が誕生しました。

1949年、非鉄金属製造業の中で最初に東京証券取引所に上場し、高度経済成長期におけるアルミ需要の高まりを追い風に成長しました。



1973年以降二度にわたるオイルショックによって、国内のアルミ製錬会社は次々と事業撤退していきました。アルミニウムは「電気の高値」と言われるほど製錬に大量の電力を要するため、電力コストの増加は大きな痛手となったのです。自社で水力発電設備を有していた日本軽金属(株)は、国内で唯一、製錬事業を継続することができましたが、アルミ地金製造の大減産を免れることはできませんでした。打開策の一つとして、日軽圧延(株)、日軽アルミ(株)との垂直統合を行うなど、すでに進めていた製錬から加工までの総合一貫体制

への動きを加速させ、日本軽金属(株)は製錬専門メーカーから現在のアルミ総合メーカーへと体制を変化させました。



1990年に入ると、総合一貫体制を一層強めるべく合併や資本提携などを進め、アルミ総合一貫メーカー「日本軽金属グループ」をより強固なものにしました。2000年以降は海外展開も加速し、中国、東南アジア、北米への展開を進めてきました。2012年、日本軽金属グループを統括する純粋持株会社「日本軽金属ホールディングス(株)」が誕生しました。2014年、惜しまれながらも国内唯一のアルミ製錬事業を終了しましたが、今後はアルミニウムに対する知見

と技術を基に、アルミニウムのトータルソリューションサプライヤーとして社会の発展と地球環境の保護に貢献していきます。

2019年、グループコミュニケーション・コラボレーションを円滑化し、お客様にとっての新しい価値を創造し続ける日本軽金属グループを目指し、オフィスが港区に移転しました。



沿革

1939▶▶▶ 第1創業期

- 1939 ・古河電気工業(株)と東京電燈(株)(後の東京電力(株))の提携によりアルミ製錬事業を目的に日本軽金属(株)を設立
- 1940 ・蒲原工場(現・日本軽金属(株)蒲原製造所)でアルミ製錬操業開始
- 1941 ・清水工場でアルミナ製造操業開始
- 1945 ・日本電極(株)を設立
- 1949 ・東京証券取引所等に株式上場

1952▶▶▶ 第2創業期・発展期

- 1952 ・カナダのアルミニウム・リミテッド(現・リオティント・インク)と資本・技術提携
- 1962 ・日軽ビル(旧本店ビル:東京都中央区銀座)完成
- 1963 ・アメリカのフルハーフ・インターナショナル・リミテッドと技術提携、日本フルハーフ(株)を設立

1974▶▶▶ 加工事業展開期

- 1974 ・日軽アルミ(株)を合併
- 1978 ・日軽圧延(株)を合併
- 1984 ・グループの建材事業を統合し、新日軽(株)を設立
- 1985 ・ニッケル押出(株)を統合(現・日軽蒲原(株))
- 1986 ・建材事業部の営業部門を新日軽(株)へ統合
・中国深圳市に華加日鋁業有限公司を設立
- 1989 ・日軽化工(株)を合併
- 1991 ・大信軽金属(株)を合併
- 1995 ・(株)日軽技研を合併、日本軽金属(株)グループ技術センター発足
- 1996 ・本店を東京都品川区東品川に移転
・東洋アルミニウム(株)へ資本参加
- 1999 ・東洋アルミニウム(株)と合併、東洋アルミ本部発足
- 2000 ・日軽産業(株)に日軽商事(株)を統合
・新日軽(株)を100%子会社化
- 2002 ・パネルシステム事業部を分社化し、日軽パネルシステム(株)発足
・押出・軽圧加工事業部(容器部門を除く)を分社化、日軽金アクト(株)発足
・東洋アルミ事業部を東洋アルミニウム(株)に統合

2003▶▶▶ 海外事業展開期

- 2003 ・アルキャン・ニッケイ・サイアム・リミテッド(現・ニッケイ・サイアム・アルミニウム・リミテッド)を連結子会社化
- 2004 ・深圳華加日鋁業有限公司と共同で自動車部品用アルミ押出材加工販売会社として華日軽金(深圳)有限公司を設立
- 2005 ・商菱日軽鋁業(昆山)有限公司(現・日輕商菱鋁業(昆山)有限公司)発足
- 2007 ・鋳物・ダイカスト用合金事業を三菱商事(株)の子会社(株)エム・シー・アルミと統合し、日軽エムシーアルミ(株)発足、子会社化
・東洋アルミニウム(株)が中国肇慶市に肇慶東洋鋁業有限公司を設立
- 2008 ・中国上海市に日軽(上海)汽车配件有限公司を設立
- 2010 ・新日軽(株)の全株式を(株)住生活グループ(現・(株)LIXILグループ)へ譲渡
・中国上海市に日軽(上海)国際貿易有限公司を設立
- 2011 ・グループの押出・押出加工事業を統括する中間持株会社として日軽金加工開発ホールディングス(株)を設立
- 2012 ・純粋持株会社として日本軽金属ホールディングス(株)を設立
・日本軽金属(株)清水工場のボーキサイトから水酸化アルミニウムへの原料転換完了
- 2014 ・日本軽金属(株)がアルミ製錬事業を終了
- 2015 ・日本軽金属(株)が(株)東陽理化学研究所を子会社化
- 2018 ・日本軽金属(株)が(株)住軽日軽エンジニアリング(現・日軽エンジニアリング(株))を連結子会社化
- 2019 ・本店を東京都港区新橋に移転
- 2020 ・(株)住軽日軽エンジニアリングが日軽エンジニアリング(株)に社名変更

主要グループ会社一覧

日本軽金属ホールディングス株式会社

〒105-8681 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル
TEL:03-6810-7100
事業内容:子会社等の経営管理及びそれに附帯または関連する業務
(グループ事業)
・アルミナ、水酸化アルミニウム、各種化学品及びアルミ地金・合金の製造・販売
・アルミ板製品及びアルミ押出製品の製造・販売
・輸送関連製品、電子材料、冷凍・冷蔵庫用パネル等のアルミ加工製品、炭素製品の製造・販売並びに運送、情報処理及び保険代理等のサービスの提供
・箔、粉末製品の製造・販売

アルミニウム線材株式会社

〒421-3203 静岡県静岡市清水区蒲原5443
TEL:054-388-2662
事業内容:アルミ荒引線、軽金属製品の製造・販売

株式会社エヌ・エル・エム・エカル

〒421-3203 静岡県静岡市清水区蒲原161
TEL:054-388-3555
事業内容:アルミ製プラントパッケージ等の製造・販売

株式会社エヌティーシー

〒597-0092 大阪府貝塚市二色北町1-11
TEL:0724-23-9235
事業内容:アルミ加工製品の製造・販売

日軽エンジニアリング株式会社

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-35-13(新永ビル)
TEL:03-5628-8510
事業内容:土木、建築製品の設計・販売・施工

株式会社東陽理化学研究所

〒959-1284 新潟県燕市杣木1961
TEL:0256-62-5175
事業内容:金属製品製造、金属表面処理

東海東洋アルミ販売株式会社

〒541-0054 大阪市中央区南本町4-1-10(ホンマチ山本ビル)
TEL:06-6245-1071
事業内容:非鉄金属並びにその製品の販売・加工・貿易、アルミ箔容器、プラスチック容器、紙製品及び包装資材の製造・販売

東洋アルミエコープロダクツ株式会社

〒550-0005 大阪市西区西本町1-4-1(オリックス本町ビル)
TEL:06-6110-1301
事業内容:日用雑貨品、石鹼洗剤の製造・販売、食品容器、成型品及び包装資材の製造・販売

東洋アルミニウム株式会社

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3-6-8(御堂筋ダイワビル)
TEL:06-6271-3151
事業内容:アルミ箔・粉・フレーク、アルミペースト顔料、成型用樹脂組成物の製造・販売

日軽エムシーアルミ株式会社

〒105-8681 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル
TEL:03-6810-7360
事業内容:アルミ合金の製造・販売

日軽形材株式会社

〒716-0061 岡山県高梁市落合町阿部2100
TEL:0866-22-6021
事業内容:アルミ押出材の製造・加工・販売

日軽蒲原株式会社

〒421-3297 静岡県静岡市清水区蒲原161
TEL:054-385-4321
事業内容:アルミ押出材、アルミ加工製品の製造・販売

日軽金アクト株式会社

〒105-8681 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル
TEL:03-6810-7300
事業内容:アルミ押出材、アルミ加工製品の製造・販売

日軽金オーリス株式会社

〒421-3203 静岡県静岡市清水区蒲原1-34-1
TEL:054-385-4462
事業内容:施設、設備等の清掃・維持管理、食品の製造・販売、食堂業務の補助

日軽金加工開発ホールディングス株式会社

〒105-8681 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル
TEL:03-6810-7300
事業内容:押出・押出加工事業の統括

日軽産業株式会社

〒424-0825 静岡県静岡市清水区松原町5-12
TEL:054-353-5271
事業内容:アルミ関連製品の販売、関連事業

日軽情報システム株式会社

〒105-8681 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル
TEL:03-6810-7320
事業内容:コンピューターソフトウェアの開発・販売・賃貸、情報処理サービス

日軽新潟株式会社

〒950-3101 新潟県新潟市北区太郎代1572-19
TEL:025-255-3141
事業内容:アルミ大型押出形材・加工製品の製造・販売、アルミ容器・ビール用サーバーの製造・販売

日軽熱交株式会社

〒421-3297 静岡県静岡市清水区蒲原161
TEL:054-385-2164
事業内容:熱交換器の設計・製造・販売

日軽パネルシステム株式会社

〒105-8681 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル
TEL:03-6810-7272
事業内容:業務用プレハブ冷蔵庫・冷凍庫、クリーンルーム用パネル等の製造・販売、関連事業

日軽物流株式会社

〒105-8681 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル
TEL:03-6810-7370
事業内容:運送・倉庫業、関連事業

日軽北海道株式会社

〒053-0002 北海道苫小牧市晴海町43-3
TEL:0144-55-7161
事業内容:アルミニウム・鉄製品等の組立加工、関連事業

日軽松尾株式会社

〒386-1211 長野県上田市下之郷813-1
TEL:0268-38-0001
事業内容:アルミ鑄造・鑄造製品の製造・加工・販売

日軽メタル株式会社

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田4-20-15
TEL:052-331-6261
事業内容:アルミ地金、板・押出製品の加工・販売

日本軽金属株式会社

〒105-8681 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル
TEL:03-6810-7101
事業内容:アルミナ、水酸化アルミニウム、各種化学品、アルミ地金・合金の製造・販売、アルミ板製品、輸送関連製品、電子材料等の製造・販売

日本電極株式会社

〒421-3203 静岡県静岡市清水区蒲原5600
TEL:054-385-3141
事業内容:各種カーボン製品等の製造・販売

日本フルハーフ株式会社

厚木本社工場 〒243-0281 神奈川県厚木市上依知上ノ原3034
TEL:046-285-3111
東京オフィス 〒105-8681 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル
事業内容:被牽引車、各種自動車用車体、各種コンテナ、関連製品の製造・販売

理研軽金属工業株式会社

〒422-8530 静岡県静岡市駿河区曲金3-2-1
TEL:054-281-1111
事業内容:アルミ建材製品の製造・販売

山東丛林福祿好富汽車有限公司

中国山東省龍口市丛林工業区北三路
TEL:+86-535-8567976
事業内容:被牽引車、各種自動車用車体、各種コンテナ、関連製品の製造・販売

山東日軽丛林汽車零部件有限公司

中国山東省龍口市丛林工業区北三路
TEL:+86-535-8567839
事業内容:トラックを含む自動車関連部品の製造・販売

東陽精密機器(昆山)有限公司

本社工場 中国江蘇省昆山市經濟技術開發区高鼎路188号
TEL:+86-512-57812388
事業内容:IT関連筐体の製造・販売

日軽(上海)汽车配件有限公司

蘇州工場 中国江蘇省蘇州市相城区黄埭镇春申路1000号
TEL:+86-512-6571-0550
事業内容:アルミ合金押出材を用いた自動車部品の研究・開発・製造・販売

日軽(上海)国際貿易有限公司

中国上海市長寧区仙霞路137号(盛高国際大厦)
TEL:+86-21-62369659
事業内容:国際貿易、三国間貿易、保税区企業間の貿易及び保税区内における貿易代行業務

日軽商菱鋁業(昆山)有限公司

中国江蘇省昆山市昆山經濟技術開發区盛希路8号
TEL:+86-512-57631946
事業内容:アルミ合金の製造・販売

Nikkei MC Aluminum (Thailand) Co., Ltd.

ニックエイ・エムシーアルミ・タイ
78/1 Moo2, Bangna-Trad Highway Km.36 Wellgrow Industrial Estate
T.Pimpa A.Bangpakong Chachengsao 24130 Thailand
TEL:+66-38-522296
事業内容:アルミ合金の製造・販売

Nikkei Siam Aluminium Limited

ニックエイ・サイアム・アルミニウム
30 Moo 14, Paholyothin Road, K. M. 47, Tambon Klong 1,
Amphur Klongluang, Pathumtani 12120 Thailand
TEL:+66-2909-7300
事業内容:アルミ板・コイル・箔の製造・販売、熱交換器、各種パネルの設計・製造・販売

Fruehauf Mahajak Co., Ltd.

フルハーフ・マハジャック
67/16 Moo.5, Kokfad, Nongchok, Bangkok 10530 Thailand
TEL:+66-2548-3733
事業内容:各種自動車用車体、断熱パネルの製造・販売、関連事業

Centro Nippon Fruehauf Cooltech, Inc.

セントロ・ニッポン・フルハーフ・クールテック
B5 Phase 2Lot 13, Sterling Properties Inc.,
Brgy Lantic, Carmona, Cavite Philippines
事業内容:温度管理車体、断熱パネルの製造・販売、関連事業

Nikkei Panel System Vietnam Co., Ltd.

ニックエイ・パネルシステム・ベトナム
Unit 1202, 12th Floor, Dai Minh Convention Tower,77 Hoang Van Thai St.,
Tan Phu Ward,Dist. 7,Ho Chi Minh City, Vietnam
TEL:+84-8-5416-8080
事業内容:断熱パネル、関連製品の販売・施工・輸出入

Toyal America, Inc.

トーヤルアメリカ社
1717 North Naper Boulevard, Suite 201, Naperville,
Illinois 60563 U.S.A.
TEL:+1-630-505-2160
事業内容:アルミパウダー・ペーストの製造・販売

Nikkei MC Aluminum America, Inc.

ニックエイ・エムシーアルミ・アメリカ
6875 South Inwood Drive Columbus Indiana 47201 U.S.A.
TEL:+1-812-342-1141
事業内容:アルミ合金の製造・販売

Nippon Light Metal North America, Inc.

ニッポン・ライト・メタル・ノースアメリカ
485 Metro Place South, Suite 210,Dublin,Ohio 43017
TEL:+1-614-698-2841
事業内容:自動車用アルミ部品の製造・販売

Toyal Europe S.A.S.U.

トーヤルヨーロッパ社
14, rue Gambetta 78600 LE-MESNIL-LE-ROI France
TEL:+33-1-34-931020
事業内容:アルミパウダー・ペーストの製造・販売